

# 新市町村の横顔

稻敷郡  
茎崎村



小池村長

昭和28年10月町村合併促進法が施行されて以来、市町村の合併が次々と実現し、歴史上行政区画の一つの革命が行われたわけであるが、何事にも例外のあること、あの大きな合併騒ぎをよそに、一人その孤高を守つた村が本県にも三つある。この茎崎村はその一つだ。

前記法律の終局の目的が、地区住民の福祉の向上にあるとすれば、茎崎村のように合併はしなくとも、村民の生活の豊かな保障があるとすれば、それはそれで又良いではないかという気がする。かつて県内でも大きな村であったが、おかげで今では七会村、玉里村に次いで小さな（人口が少い）村となつてしまつた。しかし人口が少いといつて、貧弱な村といえないのでもちろんである。

たとえば農家世帯 888戸のうち耕地面積1ヘクタール以上の農家は 561戸もある。——昭和34年夏期農業基本調査——村の人の話によると田畠あわせて平均3ヘクタールは耕作しているというが、いずれにしても村のだれもが、おらが村は裕福だと自負している。

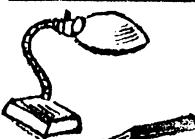
常磐線牛久駅で下車すると、下妻行三ツ矢観光バスが待つていた。このバスは普通のバスと違つて小型四輪乗用車と同じ車高の車で、定員12人くらい、乗客が一杯になると後の開戸をあけて乗り降りさせる。オトギのバスだというが、田舎の道をこわさずに走るにはこんなバスもまた合理的だ。バスで15分茎崎村役場に着く。合併町村の新しい庁舎を見なれた目には、一寸やばつたいが、そこはそれ、自分たちだけの村という気安さから別に見栄を張る必要もないという。

村の東西5.8km、南北8.7km、面積27.3km<sup>2</sup>、ふところに牛久沼をいただき、田と畑に恵まれた純農村である。茎崎村という村名は、昔牛久沼をはさんで二つの部落に分れていたが、その部落小茎と岩崎の一文字づつを取つて初代村長の小池氏がつけた。

## 昭和34年度一般会計歳入歳出予算

(単位円)

歳	村税	地方交付税交付金	公営企業及び財産収入	使用料及び手数料	国支出金	県支出金	寄付金	繰越金	雑収入	村債	合計
入	9,628,100	8,500,000	720	108,700	138,746	652,836	100	10,000	25,410	30,000	19,094,612
歳	議会費	役場費	消防費	土木費	教育費	社会労働衛生費	保健費	産業経済費	財産費	統計調査費	合計
出	596,314	5,854,648	1,623,899	1,442,462	4,734,959	275,430	431,693	2,034,677	20,720	137,300	373,844
											203,166
											1,165,500
											200,000
											19,094,612



## 統計職員養成所に入所して

生井一郎

統計関係者の皆様方には1960年世界農林業センサス、和135年国勢調査の二大センサスを来年に控え準備そので御多忙のことと思ひます。

このたび統計職員養成所第25期生として入所いたしましたので御参考までにその概略を述べてみたいと思いま

すでに御存知の方もあることと思いますが、統計職員養成所の歴史は古く、大正11年10月統計職員養成所規程が公布され國勢院第一部内に統計職員を養成する組織的機関として置かれたのがそのはじまりであり、以来毎年回数を増加させてきましたが、戦後統計機構が拡充され、統計法に基く統計職員養成機関の一つに指定されたことによつて、昭和22年10月より全く新しい組織のものとし現行の年2回(4月から9月まで、10月から3月まで)6カ月研修となり、すでに千数百人の修業生を出しているとのことです。

養成所は東京駅からバスで約20分三軒家で下り徒歩で5分程の港区麻布富士見町にあり、建物は木造二階建のあまり良いものではありませんが、近くには有栖川宮記念公園、フランス大使館、自治大学校等があり、目を遠くに向けると東京タワーがそびえており、教室にいても時折からする鳴き声等も聞ける東京にしてはめずらしく難かぬ高台にあります。

研修生は北は北海道、南は沖縄まで全国から59人が集まりました。これを勤務先別にみると、総理府、農林省、通産省等の中央各省庁29人、都道府県17人、市町村7人、電気公社、国鉄等公営企業関係4人、琉球政府2人となつており、このうち女性が2人おられます。これが各人の希望によつてA、B両クラスに分かれ、Aクラス42人は主として統計実務を、Bクラス17人は主として数研統計を履習するようになつております。

時間割は1週間を単位に編成し、予定の前の週に知らせてくるようになつており、授業時間は午前9時30分

数 据 科 目 予 定 单 限 表

教 授 科 目	統計総論	統計各論	数理統計	統計実務	基礎科目	その他	合 計	
	統計 概論	統計 概論	統計 概論	統計 概論	統計 概論	統計 概論	統計 概論	
	入経農通労國品析オズ産 民質ベリ業	記及び述び統時計間係列論	推抽測出理計論	統製統計計表計算機調査	統統統計用資機械類編料	統統統計分料資計機械法	統統統計簿記會集論史	見レクリエーション
	口済業產動所管理 得理一ト関連	統計時間統計計計	統計計論	統計統計統計	統計統計統計	統計統計統計	統計統計統計	基論微分積行列及び數列
	統統統統統統統統統統 統統統統統統統統統統	統統統統統統統統統統	統統統統統統統統統統	統統統統統統統統統統	統統統統統統統統統統	統統統統統統統統統統	統統統統統統統統統統	統統統統統統統統統統
A組	一〇		四〇	三五	三四	二五〇	二二二	一九
合同	二〇〇〇	三三		二〇	一一〇〇	二〇	二八	二〇
B組			四五五	四五四		一二三	五〇〇	一金
選抜	四	四四四四	一〇	一〇	一〇	九〇四八		三

(注) ○1 単限は90分である。

○一つの科目にA、Bともに書いてあるものは講師が異なるため。

○選択科目はA・B各組共50~60単限に相当する科目を選択する。